

ケアプランデータ連携システム導入支援について

長寿介護課 介護保険係



知立市の介護現場を取り巻く現状

- ◆ 知立市では、2040年に市民の**4人に1人**が高齢者になると見込まれる
- ◆ 介護ニーズが増加する中で生産年齢人口は減少し、介護サービスを支える**介護人材不足が深刻化**
- ◆ 限られた人材の中で介護サービスの質を確保しなければならない

⇒ 介護現場の業務負担軽減が急務！！

そのひとつとして、**ケアプランデータ連携システムの利用促進**
を進める必要がある



ケアプランデータ連携システム導入までの流れ

実施済

ケアプランデータ連携システムに関するアンケート調査

- ・市内対象介護サービス事業所にケアプランデータ連携システム導入に関するアンケートの実施
- ・対象事業所 48 事業所 改修事業所 41 事業所（回収率85.4%）

本日実施

ケアプランデータ連携システム説明会

- ・システム導入促進を図る説明会の開催
- ・厚生労働省 秋山 仁氏「介護現場の生産性向上とケアプランデータ連携システム」
- ・国保中央会 泉 明男氏「システム操作デモ」

実施予定

ケアプランデータ連携システム利用促進補助金

- ・ケアプランデータ連携システム導入に係るライセンス料の補助

アンケート結果での気づき

導入にあたり障害となる点は何か

費用対効果がわからない	18
導入に関する、知識や技能が不足している	16
周囲の事業所が導入していない	15
セキュリティの懸念がある	5
その他	9

導入にあたり必要な支援は何か

システム導入等に関する経済的な支援	25
市全体でシステム導入を推進する雰囲気づくり	20
システム導入に関する技術的支援	17
システム導入に関する詳細な説明	14
特になし	5

- ◆ システムの導入効果が十分に周知・理解されていない
- ◆ システム導入率が低く、導入効果が少ないため、様子を見ている事業所が多い
- ◆ ライセンス費用以上の経費削減が可能であることが周知されていない
- ◆ 導入率の向上により、導入が加速度的に進む可能性がある



知立市ケアプランデータ連携システム利用促進補助金

対象 事業者

- ・ 介護保険法に規定する居宅サービス事業者（特定福祉用具販売を除く）
- ・ 補助金申請日直近3か月において利用者の受入実績があること

R7中にトライアル機能を使い事業所登録をし、連携を開始した事業所

対象 経費

- ・ ケアプランデータ連携システムのライセンス料

補助 金額

- ・ 1事業所あたりライセンス料である21,000円（1回限り）
- ・ 事業所番号毎に申請可能

令和七年度
開
定



今後の展開

導入支援

- ・説明会の開催
- ・ヘルプデスクの紹介
- ・未導入事業所への導入支援

導入効果測定

- ・記載時間・返戻率・残業時間・離職率の低減、有休取得率の増加
- ・利用者支援にかかる時間の増加・利用者満足度の向上

生産性の向上

- ・働きやすい職場環境
- ・介護人材の定着